

○各取組項目の実施機関(太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)																	
具体的な取組の柱			目標時期	実施する機関													
事項	具体的な取組	広島市								安芸太田町	広島県	広島地方気象台	国土交通省 中国地方整備局				
		中区		東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	佐伯区				太田川河川事務所	広島国道事務所	温井ダム		
②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動																	
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備																	
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する水位計の整備(再掲)	C, H, I	H28年度												○		
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備(再掲)	C, H, I	H30年度												○		
	・河川のリアルタイム映像の提供設備の検討(再掲)	C, H, I	H30年度												○		
	・防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設の検討	K	H32年度	○				○	○						○		
■水防活動の効率化及び水防体制の強化																	
	・水防管理者等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	E, F, G, H, I	H28年度から定期的実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・太田川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について水防管理者等や地域住民が参加する合同点検の実施	G, H, I	H28年度から定期的実施	○	○	○	○	○	○	○	○				○		
	・リアリティのある水防訓練の実施(再掲)	B, C, D, H, I, K	H28年度から検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	J	H28年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○
③浸水を一日も早く解消するための排水活動の取組																	
■排水計画の作成及び排水訓練の実施																	
	・排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成	L	H29年度から検討実施												○		
	・排水計画に基づく排水訓練の実施	L	H30年度から順次実施												○		
④温井ダムの効果的・効率的な運用																	
■温井ダムの効果的・効率的な運用																	
	・事前放流及び特別防災操作(適応操作)を的確に実施	K	事前放流(H19年度から運用開始)及び特別防災操作(適応操作)(H25年度から運用開始)を運用中												○		○